

失業海員救済事業報告

三八

世界海運經濟は未だ尙恐慌期を脱せざるにかゝはらず、獨り吾國のみ昨年下半年以來變態的好況を呈するに至つた結果として繋船の解除、中古船の輸入等は必然的に失業海員の減少を見るに至つた。然し乍ら此の趨勢は將來斷じて樂觀を許さざるものであつて、昭和七年末全國失業海員は減少したりと稱するも尙三、三、四人（海事協同會調査）を算し且八年に入りて失業者は漸増の趨勢を辿りつゝある。

組合は此等失業海員の救済に向つて各年多大の犠牲努力を拂ひ、主務省より更に本年度の事業繼續補助の認可を受け、依然全國七ヶ所に於て（神戸、大阪、戸畑、名古屋、横濱、函館、小樽）失業海員救済の爲授産所を經營しつゝあり。各授産所に於ける主たる作業課目は、各種船舶用品の製作、加工、修繕、勞力供給等であつて、之等作業に對する授産所支給金額は一日八拾錢である。

【附】日本労働組合會議報告

恐慌の深刻化につれて愈々加重する資本の狂暴的攻勢を前にして全プロレタリア階級は、從來の如く、觀念的理論にのみ陶酔して七花八裂の分裂を續くることの愚をさと、階級戦線整備の必要性を愈々痛感するに到つた。

この大衆の希求を洞察し群雄割據の亂立をつゞる階級戦線を整備すべく多くの人々によつて戦線統一のさげが上げられたのであるが、過去の分裂の要因たる組合幹部間乃至組合大衆間の對立的諸感情にわざはひされてその全てが失敗に歸した。しかるに歩一步、底なしの深みをたどる經濟恐慌と共に資本の攻勢は益々白熱的狂暴を加へ、一切のプロレタリア階級の

に敵首、質銀低下、労働時間延長等の慘虐なる擧取強化のムチを重打するに到つた。

翻つて資本家階級の陣營を見るに、利益の前にあくまで冷徹聰明なる彼等の本領を遺憾なく發揮して、こゝいやくも勞資間の階級的利害に對しては鐵の如く結束して労働階級一切の要望を盡く撃破蹂躪せんとした。例へば労働組合法案の如き、彼等はこの階級の一大利害を前にして、從來の一切の對立的感情をすて、協同的戦線をはり、全國的抗争によつて全労働階級の要望を熾すのうちに蹂躪して見事彼等の階級の利益を確保した。こゝに於て、確乎たる統一を有せざる労働階級の個別的乃至分散的抗争が権力と金力を背景とする資本家階級の偉大なる階級の統一の前には全く無力であることをまのあたり見た全労働階級は、戦線統一の必要性を一層深刻に痛感するに到つたのである。

大衆の希望を正しく速かに實踐に移す事は労働組合幹部に課せられたる當然の責務でなければならぬ。

かくの如くして我が海員組合の指導の下に八大労働組合をその傘下に包擁して生れ出でたものが日本労働俱樂部である。

しかも日本労働俱樂部は存続一ヶ年有餘の間組合會議への先行的形態としての役割を完全に遂行し、昨年九月二十五日我國に於ける代表團體十労働組合の血盟を得て日本労働組合會議の結成を見るに至つたのである。

日本労働組合會議諸會議記録

第一回評議員會

場所 東京芝浦會館

審議事項

日時 昭和七年九月二十五日

出席者 結成大會出席評議員全部

一、執行委員選出の件

三九